

## 平成30年度：認知症研修「何故そんなことをするの」アンケート結果

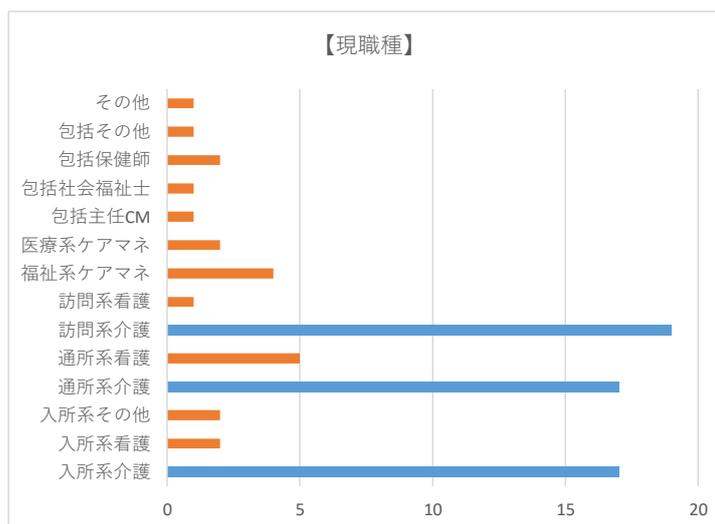
日時 平成31年3月22日（金）18：00～20：00

会場 長浜市民交流センター

参加数 84人 アンケート回収率 89%（75人）

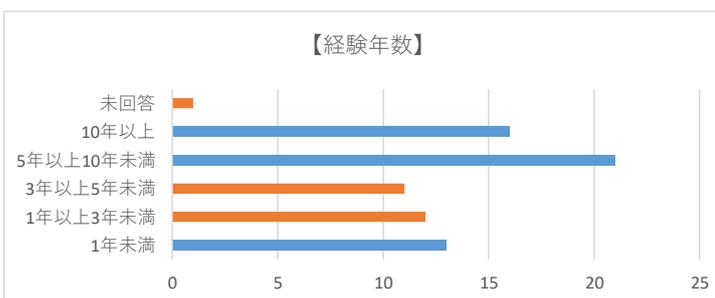
### Q1. 現職種

入所系介護	17
入所系看護	2
入所系その他	2
通所系介護	17
通所系看護	5
訪問系介護	19
訪問系看護	1
福祉系ケアマネ	4
医療系ケアマネ	2
包括主任CM	1
包括社会福祉士	1
包括保健師	2
包括その他	1
その他	1



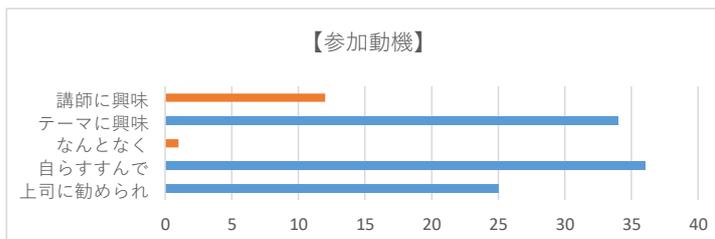
### Q2. 経験年数

1年未満	13
1年以上3年未満	12
3年以上5年未満	11
5年以上10年未満	21
10年以上	16
未回答	1



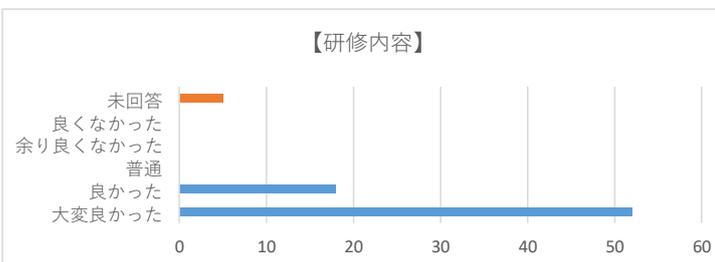
### Q3. 参加動機（複数回答）

上司に勧められ	25
自らすすんで	36
なんとなく	1
テーマに興味	34
講師に興味	12



### Q4 研修内容

大変良かった	52
良かった	18
普通	0
余り良くなかった	0
良くなかった	0
未回答	5



### 一番印象に残ったことは

- ・人を理解できるプロでないといけない。人の気持ちを理解できるプロ
- ・「できない」のではなく「わからない」だからわかりやすくする方法を工夫すること
- ・認知症は「記憶障害」であること、否定してはならないこと「わからなくなった」わけではなく「わかりにくくなった」だけであるということ
- ・最後まで話を聞くこと。焦らす不安にさせる事の影響の大きさ
- ・理解する、寄り添うことを心掛けてはいたが足りないことが多いと思った
- ・認知症は70種類以上あるということ。認知症の方の行動の意味
- ・寄り添うことが大切だと実感しました

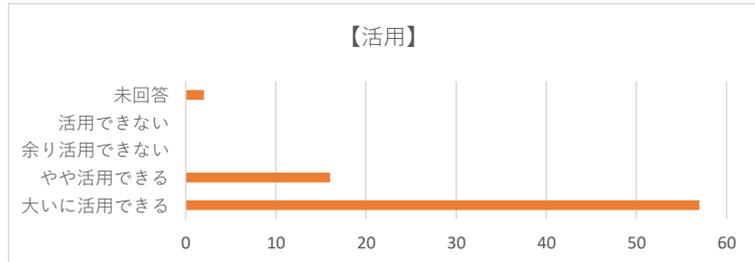
- ・分かりやすい説明でスライドとマッチしていたので良かった
- ・認知症と人を見る。人を理解する
- ・今後認知症の人にどのように接していけばいいのかヒントがわかったと思います
- ・あきらめず時間をかけて理解してほしい
- ・家族の事を思ってしまう行動。慣れている事の安心、慣れない不安
- ・ジャンケンゲームでの慣れている事は安心できるというところで、当たり前になっている事の様で関わりの部分でできていなかったと気づかされました
- ・まだまだ分からないことが多いことに気が付いた。関わりや声のかけ方を改善し不安なく安心してもらえる声掛けが必要だと言うことが大事だとわかりました
- ・寄り添うことの大切さ、私その人の立場になって考える。優しく（否定じゃなく）接していく。理解をより深める
- ・焦りや不安などからストレスになる（常に不安に思っている）
- ・認知症の方が放床された事案の例があったが、気持ちの方が先に立ちゆらりとしたケアが出来ない様な気がする
- ・知識はあっても人を理解する大切さを学んだと思う。認知症ケア専門士としてわかっているようでわかっていない基本を学ぶことができた
- ・初任者研修で先生の講義を伺いましたが、何度聞いても本当に勉強になります
- ・「思いやり」は誰にでもみえるという言葉
- ・相手の行動の理由は何か理解し本当のことは伝えず思いやり発言する
- ・気持ちに寄り添う事が安心につながる
- ・認知症の人に「安心」をしてもらうため相手の心を理解することが大切
- ・より添い（心）
- ・環境によって認知症の進行は早くなる。本当のことを言う事で、よりその方の不安や焦りを増やしてしまうということが解り、仕事に活かしていけます
- ・声をかけることが認知症のあらゆる面でフォローをしているということ
- ・医療、治療だけでなく、家族を含む周囲の人の対応で認知症の症状が改善されるということがよくわかった
- ・安心するためには、どの様に接するのか、かかわりの持ち方の大切さを学びました
- ・思いを汲み取る（アセスメントする） 自分はそれが必要と思いつながりながら流されていることもあった
- ・認知症はできることもある。覚えていられないから理解できない。覚えていられる工夫をする
- ・基礎である。行動にうつるまでの脳での考え方や手順がとても分かりやすく、アプローチしやすいと思った
- ・先生のお話を聞いていて優しい気持ちになり、涙が出そうになりました。このあたたかい気持ちを忘れないようにしたいです
- ・病気を理解することはもちろん、その人を理解することが大切だと痛感しました
- ・認知症の家族のように、事実を言ったり否定することがあるので、声かけの仕方を相手の気持ちにたってしてみようと思った
- ・利用者さんを知っているかのように話されていたことにびっくりした
- ・認知症の方の思いやり
- ・人の心、安心、心が安らぐ、大切だと感じました
- ・認知症の方との関わり、不安や焦りで認知症の進行を速めていること
- ・相手（利用者）の心、気持ち、想いを観察して理解することが必要という事
- ・認知症の方に対する接し方など新しい事が聞けてとてもよかったです
- ・非常にわかりやすく説明していただけたので、よく理解できた
- ・わかりやすい説明で入りやすかった
- ・環境が大切であること、自身も環境であること
- ・できることをすることで人は安心できる
- ・思いやり
- ・認知症の方の「誰かの為に何かをしようとした」という言葉が印象深かったです
- ・やらない、できないではなく声をかけたら出来る人がたくさん居ることを心にして介護すること
- ・なぜ焦らせるのはダメなのかなぜか？ ①認知症を進行につながる ②不安や焦りが行動心理症状につながる
- ・目の前の認知症の人に寄り添う、不安にさせない
- ・利用者の方に安心してもらう為心に寄り添ってケアをする
- ・チューリップの話、背景に思いやりの気持ちがあったのかもしれないということ
- ・認知症の方の目の前の「人を理解する」ことの適切な関わりである
- ・寄り添う事への関わり方を知ることができ、こんな風に声をかけるといいんだと気づいた
- ・基礎の大事なことを改めて学べた



- ・認知症の人の行動にはすべて理由がある事であり、環境を整えること、声かけにより不安や行動が減る為、気持ちを理解することが大切である。
- ・感覚的には理解できている事をどうしたら伝えられるかを学びたかった。
- ・すぐわかりやすく、聞きやすい話でした。感動しました。
- ・人の気持ちがわかるプロになること、優しく本当のことを伝える時代もあったが、今は不穏にならない言葉がけ。
- ・介護者の常識を押し付けてしまっている事。介護者がBPSDの環境を作ってしまった事
- ・介護者がBPSDの環境を作ってしまった事
- ・再度認知症のことを理解する良いきっかけとなった。日々の業務に追われ初心を忘れていくことが多いので。

Q5. 今後の支援に活用

大いに活用できる	57
やや活用できる	16
余り活用できない	0
活用できない	0
未回答	2



具体的には

- ・認知症の方への対応の仕方については実践できるシーンが多いですが、その理由エビデンスについて考えるきっかけになりました
- ・何故そうなのか？何故そう思うのか？と相手の立場や気持ちを理解していくことの必要性
- ・「最後まで話を聞くこと」「声をかけてあげること」「言葉だけでなく、書いてあげること」など接し方が具体的に良かったです。
- ・言葉のかけ方をやさしく否定していることが思いついたところがあります。見直してすぐ変えてみたいと思います。
- ・利用者さんに対しての関わり方を見つめ直すいい機会になりました。
- ・その行動が何のためなのか誰のためなのかまで考え、その人がしようとした事を介護者が理解し安心できる環境を作りたいと思った
- ・基本的な事なのでわかりやすく人にも説明できる内容でした
- ・声のかけ方で利用者さんの気持ちが変わってくる。こちらの都合に合わせないことが大切。観察力と想像力が大切
- ・つい正しい事を言ってしまうが、本人様を受け入れて訂正しないようにする
- ・声かけ、その人の身になって考えること。行動も心も見えていく
- ・言葉で説明ではなく見える形にする事→自分のペースで考えてもらう
- ・関わり方という部分でもっと深く理解し安心して頂けるようにしていきたい
- ・声のかけ方や一人ひとりにあった関わりを実際にしてみたいと思いました
- ・最後まで話を聞く、声をかけてあげる
- ・寄り添って安心した生活を送っていただきたい気持ちはあるが、何しろ時間に制約があるので出来るかわからない
- ・担当している認知症患者の方との関わり
- ・認知症について改めて気が付かされる事が多くありました。日々の仕事に追われて実践ができていない事に気づかされました。
- ・「寄り添う」ケア（周りの方を学んで）をしていきたい
- ・問題行動と思えることをされていたら、なぜそうされたのか考えます。理解する
- ・何度もくり返して答えてあげる 深く理解してあげる
- ・キャラバンメイトの説明資料を作っています。わかりやすく理論的に根拠を付けることが多いので大変勉強になりました
- ・家族の話をよく聞くことで、認知症の人のとっている行動の意味について考えることができそう
- ・まず、認知症を理解していくこと。日頃のかかわりを大切にしたいと思いました。
- ・利用者様が行動されることにより、細かく観察や考察をして、それぞれが安心できる環境を整えたい
- ・認知症の人の気持ち、深いところの思いをわかろうとすることが大切。心に寄り添う事が大切
- ・ゴミ箱でトイレをする方へのアプローチ
- ・私も今日のようなお話を伝えていける人間になりたいです
- ・かかわり方 その人に寄り添って仕事していこうと思えました。
- ・相手の気持ちを汲み取り寄り添う対応をしていきたい
- ・利用者さんの心が見えた気がした
- ・伝え方を考えていこうと思う
- ・利用者さんの思いを考え少しでも寄り添いたい
- ・利用者さんとの接し方
- ・実際に歩き回る利用者様に何も渡さずに「ここに座っていて」と伝えていた。どうすればその場に居て頂けるかを考えていきたい
- ・声かけなどを実践していきたいです



- ・安心できる環境作り
- ・とても具体的でわかりやすい言葉でとても頭に響いて、とてもよかったです。デイサービスで活用できることがたくさんありました。なんとなくかかわり声かけしていたことが、より理解できたので自信を持って関わりたいです
- ・職員で共有することを情報だけでなく、行動面でもふやしていける
- ・認知症の利用者様を不安にさせないをモットーに安心できるケアを心掛けていきたいと思います
- ・「声かけ」の大切さをきづかせていただいた
- ・なぜその人がそんな行動をしたのか？を介護者に伝えることができるようになれば介護者のいらいらがおさまることにつながれば家族関係が少しでも改善できるのではと思う
- ・声をかけたら出来る事を考える
- ・利用者様の気持ちを考えるようにしたいです
- ・現場でも気持ちを考えてみようかと思えます
- ・否定するのではなく、そっと見守り「なぜ」その様になったのか考える
- ・基礎編から次々に学べるといいなと思いました
- ・認知症の方の行動を思いをみんなで考えてみたいと思う
- ・認知症の利用者さんの気持ちに寄り添い、現に困っている事を専門職として解決できるように支援していきたい
- ・認知症の理解だけでなく認知症の方の世界観の理解をしていきたいと考えます
- ・環境
- ・落ち着いて考える 行動、言動、表情を観察する 余裕をもって



## 6. 悩みや困っている事

- ・地域ができるだけ在宅で認知症の方を受け入れられるマインドを持てるようになってほしい
- ・認知症の方が「今日帰る日やろ？ここから出してーな」と言われることが多いです。でも本人への不安や焦りを与えてしまったら「後で困る」と考えてしまいます。本人に不安や焦りがないようにどのような対応をすればいいのでしょうか？
- ・要介護の違いでAさんは出来る、Bさんは出来ないから介助する。その時のAさんの自分は手伝ってもらえないのか、という不満はどうすればいいのか
- ・20代なのでどこまでタメ口や慣れ慣れしい口調で話したらいいのか分からない時がある（親しみと偉そうの違い）
- ・ケア中すぐどこかに行ってしまう
- ・何といて返したらいいのか 今何を思っこの行動をされているのかという所がなかなか答えがでなくて、不安にさせてしまっているところがあり、今回とても勉強になりました
- ・まだ介護職について2年ぐらいなので、今日の事ですごく勉強になりました
- ・何度も同じことを繰り返される方がいます。同じように対応しているのですが、どのように対応すればいいのか、自分の対応が間違っているような気がしてなりません
- ・認知症の人は苦手でしたが、今日の研修を受けてもう一度考え方を改めて頑張りたいと思った
- ・認知症により暴力的、激しい否定がありオムツ交換が困難な方がおられる
- ・認知症ではあるが自分でできることはされている。家族はヘルパーにトイレ誘導しパットの交換をしてもらいたいと望んでおられるが、声掛けしても「自分でできるからほっといてくれ！」とトイレに関しては強い拒否があり、無理強いもできない。家族の思いになかなか答えられない
- ・認知症になられても、まだしっかり考えをもっておられる方の接し方（怒られてしまうこともある）
- ・家族地域へ早期予防、治療を伝えていくこと。わかりやすい伝え方
- ・人材不足ゆえの多忙
- ・ありすぎて書き方がわからない
- ・時間に追われコミュニケーションがとれにくい
- ・毎日の忙しさに追われ、なかなか寄り添うことが出来ない。頭ではわかっているつもりだが…
- ・利用者さんは当然ですが、スタッフ達の関わり 難しいです
- ・心のこもったケアがなかなか時間に追われてしまい出来ないのがつらいです
- ・認知症初期の頃のサービスにつながらないケースが多いこと
- ・個別対応に力を入れたデイが増えると良いと思う。集団が多い
- ・認知症の人同士のけんかが時々見られる。何が原因でどうしたいのかわからないままヒートアップしてしまう
- ・今日教えていただいたこと わかっているつもりになってしまっていて出来ていない
- ・忙しく後回しになってしまうことが多い。すぐに対応したいができないこともある

## 7. 感想やご意見 希望する研修テーマ

- ・参加者さんの年代が若いと思いました。医療福祉職の人がやる気を高く持って仕事ができるような研修。自分たちの仕事が魅力あふれる仕事だと再認識できるような内容。
- ・看取りについての研修。認知症ケアに対してのシリーズ化、看護職や介護職など様々な職種との連携によるケア提供などの研修を希望します。看護職のためか介護職から距離を置かれがちの為、研修を活かして少しでも近づけお互いによりケアを提供できるようにしていきたい。気持ちや思いを理解することが大事だと改めて学べました。（アセスメントにつなげその人らしさのケアを提供することも）
- ・先生のお話しはとてもわかりやすくスライドや資料も絵が入っていたり、文字が色分けしていたり、とても理解しやすくあっという間の授業でした。
- ・テンポよくとてもたのしかったです。ありがとうございました。
- ・話がわかりやすく面白かった。
- ・分かりやすく大変タメになりました。
- ・とてもわかりやすい講座でした。ありがとうございました。これからも頑張ってください。
- ・ご家族さんとの関わり方 ご利用者様の性格や考え方に寄り添える方法が知りたいです。
- ・何回も寄り添うと言葉を聞いていますが、再度色んな事を考えさせて頂きました。
- ・わかりやすく、楽しく学ばせていただきました。また参加させていただきたいと思います。
- ・今後もこのような研修を開いてほしいです。
- ・とても本日は意義のある研修内容でした。ありがとうございました。
- ・しょうがい者さんに対するケア方法 精神にすぐくごだわりのある方の対応
- ・認知症に関するものをまた研修テーマとしていただきたい。
- ・とても良かったです。すぐ実践したいです。
- ・障がい福祉の研修をしてほしいです。
- ・ありがとうございました。
- ・わかりやすい先生のお話ありがとうございました。
- ・ポジショニング
- ・もっと認知症の研修を受けたいと思った。
- ・軽快な口調で聞きやすかったです。具体的な例も多くとてもわかりやすかったです。
- ・とても勉強になりました。いかに自分が日々の業務的なケアしかできていないかと痛感してもっと思いやりのあるケアを心がけたいと思いました。
- ・認知症について改めて対応の仕方や症状について考え直すことができた。
- ・少しテンポが速く思いましたが、自分で考えていこうと思います。
- ・利用者間でのトラブル時の職員の関わり方
- ・とてもわかりやすく話していただいてあっという間に時間がたちました
- ・伝える力聴く力を身につけたい
- ・看取り介護
- ・薬に関する研修 認知症、病気
- ・色んな事例に基づいてお話してくださると、現場と重ね合わせて話が聞け、より納得して話が聞ける。



### 《所感》

年度末にも関わらず、たくさん介護職の方にご参加いただき、また多くのご意見を頂きましてありがとうございます。テーマに関心を持ち自ら参加していただいた方が殆どで、日々の介護の中で認知症の方への困った対応に示唆を頂きたいという思いが伝わりました。先生のお話の中にあるように大脳の働きの中で、その人のどの部分が出来なくて、何が出来るかをアセスメントし、目の前のその人を理解することが大事ですね。また、環境整備も大きな仕事です。私の孫はハイハイができるようになって、何でも口に入れて確認しています。大人は、飲み込んでしまわないように小さな物や危険なものは取り除きますが、このことと同じように、ビー玉を餡と勘違いしないように環境を改善したり、問題行動の引き金にならないような適切な関りが大事と学びました。その人の行動の奥にある思いに寄り添うにはしっかり話を聞くことも大切です。「でも時間も無いし、その人だけに、構ってられないわ」というのも事実です。私はこの講義を聞いて、業務改善のヒントがあるのではないかと思います。皆さんと一緒に考えていきましょう。

長浜米原地域医療支援センター